

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	「流山市生活排水対策推進計画」(案) 修正案
1-1		総論	私たち市民にとって生活排水(炊事、洗濯、入浴)は人々の生活に伴い公共水域に排出される水であり、水質の汚濁(悪化)の防止が市民の健康を保護し、また人の健康に係る被害を生じないようにする対策の一環・改善対策としての第3期流山市生活排水対策推進計画案と理解しました。市民に対するPRとしての広報が一番大切と感ずます。①市の広報②各自治会を通し各家庭へのPR(1期、2期の改善状況)③学校教育の現場で直接川辺散策などでできればと思う。④国民として山・海の日と川の日が日本人文化の源と切に大切に実感します。	計画の基本方針3に「地域連携のための周知・啓発」を位置づけており、広報や環境白書により引き続き周知・啓発を行います。また、環境教育の一環として坂川流域の小学校3校を対象に、水質、生物調査や水質改善の取組み等の総合学習を、国土交通省が主体となり行っています。	無し	
2-1	21	「(3)地域連携のための周知・啓発(市民の環境保全意識の啓発・醸成)」	(3)地域連携のための周知・啓発について、水環境の改善に関して、市民と市や関係機関が情報を共有する仕組みを構築して頂きたいです。例えば、現在、流山橋の下、江戸川の流山市側においては、数隻のボートが係留され、河川敷の一部が除草され足場パイプで階段が敷設され停泊所として占有されています。対岸の三郷市側が綺麗に整備され、流山市側では周囲がランドとして利用される中、流山橋の下、北側だけにこのような定常的な停泊所を整備することは異様です。河川の水質改善は重要ですが、同様に景観も大事です。特に堤防は安全にも直結しますし、行政がどのような理由で許可しているのか、市民としては理解しかねます。市ではご存じのこととしますので、関係機関と情報共有してご確認いただければと思います。上記は一例ですが、水環境の保全には、河川や湧水近傍に住む近隣住民の協力が不可欠と思います。市民が気軽に行政と情報交換できるような仕組みを作りたいと思います。	市内河川における油や白濁水等の水質事故については、国土交通省や千葉県、企業等による連絡体制を整備し対応しています。また市民の皆様とは、江戸川、坂川、大堀川、利根運河などの各河川で活動をしている団体との情報交換の場を設けています。 河川に関するご意見や情報提供につきましては河川課にご連絡いただければ現地を確認し各河川管理者に状況をお伝えしています。	無し	
2-2	20	「④湧水の保全」	「流山市の湧水」に関して、大変素晴らしい取り組みと存じます。湧水は郷土の財産であり、今後とも是非環境保全を進めて下さい。市民として協力したいと思いました。湧水や雨水の地下浸透とも関係しますが、水道水源になるような深い地下水に関する記述がみられません。生活排水の汚染の影響は考えにくいために記載されていないのかもしれませんが、流山市は水道水源として表流水だけでなく地下水も使っており、市民として関心があります。特に原発災害で一時的に乳幼児への水道水を与えることを控えるよう広報された際には、問題のない地下水の供給は大変ありがたかったことを覚えております。生活排水等の影響により河川水が影響を受けた場合に備えることや、リスク回避や防災の観点からも、本計画における保全の対象として深い地下水(被圧地下水)も入れて頂きたいと思います。	本計画は、計画策定の背景や目的にもあるとおり、生活排水による汚濁防止と河川の水質改善を主題としています。ご指摘にもありますように深層の地下水は生活排水や公共水域への直接の影響が考えにくいことから本計画では対象としていません。 なお、市の水道水は現状で約2割の地下水を使用しており、14本の深井戸からの採水については定期的な水質検査により安全確認を行っています。	無し	
2-3	2	「(1)循環する「水」」	文意から、この場合は「台所の排水溝」ではなく、「排水口」が適切ではないでしょうか。排水パイプ全体ならば溝ともいえるように思いましたが、台所の水は、シンクの穴に流れて目の前から消えます。また、ここでは水循環として地下水が書いてありません。滞留時間が長いから含まれていないのかもしれませんが、後述に湧水が言及されており、健全な水循環という言葉もありましたので、例えば、「雲や雨となり、地上に降った雨の一部は地下に浸透して地下水、残りは川として再び～」というように水循環の一部(貯留量)として位置付けておいた方が、20ページ以降の説明と矛盾が無いように思いました。流山市は水道水源に地下水を使っていますから、市民として地下水はとても親しみがあります。	ご指摘のとおり修正を行います。	有り	・「排水溝」→「排水口」 ・「台所の排水口に流れた「水」も、道路側溝に流れた「水」も、皆さんの目の前からは流れて消えていきますが、その水は川や海に流れた後、雲や雨となり、そして川となって再び私たちのもとにやってきます。」→「台所の排水口に流れた「水」も、道路側溝に流れた「水」も、皆さんの目の前からは流れて消えていきますが、その水は川や海に流れた後、雲や雨となり、地上に降った雨の一部は地下に浸透して地下水、残りは川として再び私たちのもとにやってきます。」